



第1回大河原管内学力向上対策会議を開催しました

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（宮城県）において、小学校国語・算数、中学校数学で全国平均正答率とのかい離が広がったことを受け、管内市町の学力向上施策及びその成果と課題の共有と理解を進め、更なる主体的な授業改善と学習指導の充実を図ることを目的として、9月9日（金）に各市町学力向上担当者を対象に第1回大河原教育事務所管内学力向上対策会議を開催しました。

協議では、①家庭学習への支援・家庭との連絡等について、②算数・数学の全国とのかい離をどのようにして縮めるかについて、話し合いました。

①については、メディア使用について、中学生はGoogle スプレッドシートで一週間のメディア使用時間を入力し振り返ることに取り組み、家庭学習の時間を確保する意識を高めている実践が報告されました。②については、「中間層～上位層が伸びていない」ことに目を向けた授業実践が効果があるとの報告がありました。

下に、主な取組等を紹介しますので、ぜひ各市町及び各学校の学力向上施策（対策）の参考にさせていただきたいと思います。

【成果】〇各市町教育委員会の学力向上対策について、具体的な取組を共通理解ができたことはよかった。算数・数学のかい離に対して、「中間層～上位層が伸びていない」ことに目を向けた授業実践が効果ありとの報告もあった。

【各市町の主な取組】

- ・教育委員会によるマネジメント（校長会、教頭会）
- ・調査結果に基づく授業改善
- ・好事例（授業）の水平展開
- ・「家庭学習の手引き」を全小中学生に配布（HP 掲載）
- ・学力向上マネジメント支援事業でのPDCAサイクル
- ・連携サポート事業の活用
- ・3月に学び直しの時期を設定
- ・生活習慣に係る自己管理能力の育成 等

<調査結果を踏まえた授業改善の手順（提案）>

- 1 調査結果の確認・分析・課題の把握（キーワード：全職員で）
〇全職員で結果を確認（問題も解く）し、自校の課題を把握する。
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現（キーワード：日々の授業で）
〇無回答への対応（根拠を持って、自分の考えを書く指導の徹底）
- 3 宿題・家庭学習の質的向上（キーワード：家庭とともに）
〇宿題、家庭学習を丁寧に指導

教科指導力向上研修会の様子について

今年度も、教科指導力向上研修会（全9教科）を実施しております。新型コロナウイルス感染症防止と安全対策に細心の注意を払い、各会場校にも大変御苦勞をお掛けしながら開催しております。御理解と御協力で改めて感謝申し上げます。これまでに行われた研修会の様子を紹介します。

令和4年9月13日（火）【中学校技術・家庭】

会 場：白石市立白石中学校

提供授業：3年「AIは我々の社会に
何をもたらすのだろうか」



制作したプログラムを「安全性や社会に与える影響」「環境への影響」「経済への影響」「倫理観」の4つの視点から、評価させる授業でした。未来に向けた新たな改良、応用についても提言する生徒の姿が見られました。

《参加者の感想から》

- ・中学校技術科において、どのように授業を構成しているのか学ぶことができました。現代的な課題に対して生徒にどのように考えさせたいのか教師側がしっかりと意図することが大事だと思いました。（小学校）
- ・「AI」というと今まで紹介や事例を見せるのみに留めていた内容だったのでとても参考になりました。自校での指導に生かしたいです。また、生徒の振り返りの中で「AIに学習させるのが難しかった」という意見が見られ、「開発者」の視点を生徒が持っていることに大変驚かされました。（中学校）

令和4年9月30日（金）【中学校理科】

会 場：蔵王町立宮中学校

提供授業：1年「気体の発生と性質」



「炭酸水素アンモニウム」を加熱したときの变化について、仮説を立て検証するための実験方法を考える授業でした。導入で、「炭酸水素アンモニウム」の粉末を「物質 X」として提示し、生徒の興味関心を引き出していました。

《参加者の感想から》

- ・生徒が自分たちで実験方法を考える探究型の学習の授業が大変勉強になりました。未知の物質が何か考える、という授業を自分も実践したいと思います。（中学校）
- ・自分の悩みとしてあった「深い学び」について、生徒の意見を広げたり、生徒の知的好奇心をくすぐったりするような話題等、身近なちょっとしたことにも含まれていることが分かり、参考になりました。明日以降の実践に生かせるよう頑張っていきたいと思います。（中学校）